



⑥小平中学校校舎・屋体外壁等改修事業の実施計画について

本校舎は建設より12年程の経過年数であるが、損傷箇所が相当数見られる。

今年度予算において、同一工法にて校舎の全面補修を実施する予定であるが、町内唯一の中学校校舎として今後も長期に使用することから、立地条件を踏まえ、十分な耐用性のある工法により、計画的に適正なる維持管理に努められたい。

⑧ゆつたりかん(指定管理)の運営状況について

町民の福利厚生施設としての機能を十分に発揮されることを願うとともに、町と指定管理者の連携を密にした取り組みを期待する。また、PR方法については、他市町村の事例を参考とし、利用増進に努めて頂きたい。

⑨ゆうゆうそうの運営方針について

平成28年度からの宿泊料の値上げや利用方法の変更により、宿泊者数は減少しているが、支出経費の削減により収支は改善している。しかしながら、海洋センター等他施設の利用率の増減に直結する施設でもあるので、宿泊利用者数の増加に期待している。今年度農泊事業や新たな体験メニューの構築に、地域おこし協力隊員が取り組む事となるが、その事業推進に期待するとともに、町の積極的な支援を願う。

豪雨被害調査

7月3日～4日にかけての豪雨による被害について

前線の停滞により、7月3日未明より降り出した豪雨は、道北部全域に甚大な被害をもたらしたが、当町においても崖崩れ等により、国道1路線、道道6路線が通行止めとなり、住民等に多大な影響を与えました。

また、河川についても増水が続き、普通河川の氾濫により、田畑に甚大な被害を与えております。しかしながら、町長をはじめ職員には、深夜から万全な警戒体制をとられ、的確な対応により人的被害等が無かったことは、安堵しているとともに敬意を表します。

・田畑の復旧に際し、農作業への影響を最小限に留めるよう、応急措置の実施並びに本格復旧工事の施工時期の設定が望まれる。

・復旧事業の選択に当たっては、事業実施者の負担が軽減されるよう適正な補助事業等の選択が望まれる。

・河川のスムーズな流れを維持するとともに、増水時の氾濫防止のための定期的な管理の実施を望むとともに、2級河川についても管理者に対し、適正な管理を今後とも継続すべく要望することが望まれる。

・道より受託管理している樋門・樋管及び鬼鹿地区温寧川排水ポンプの管理について、災害時に的確な操作が迅速に行えるよう、年1回以上の操作訓練の実施が必要と思われる。

・今回の大雨については災害対策本部は設置されずに済んだが、緊急時に迅速かつ円滑な応急対応



ができるよう、災害時初動マニュアルに基づいた訓練の実施も必要と思われる。

・調査時は災害発生より短期間であり、被害の概要についても集計途中とのことであったが、漁業被害については未集計であり、今後被害が表面化すると思われるので、関係機関との連携を密にし、漁業被害の把握や今後の的確な対応が望まれる。

あとがき

近年食品ロスが問題視されているが先日、「在宅介護者を支える会」で開催している、アジサイを訪れた。

会員が持ち寄った食材で麺類・御飯・サラダ等を食す。良心的かつ慈愛に満ちた食事は、町民の笑顔と会話で溢れていた。

食材の宝庫と誇れる我町では、規格外の産物を再利用し「食品ロス」0を目指し取組んでいかなければと考慮するひと時であった。

アジサイの花言葉は「元気な女性・辛抱強い愛情・家族の結びつき」とある。

町政も同様、「活力と慈愛・団結」を忘れてはならないと考える。

(西)

●発行 小平町議会
●編集 議会広報発行 特別委員会
TEL (〇一六四) 五六二二一一
●印刷 (株)プリコム旭川